

令和元年度第1回 東京都北区居住支援協議会 議事要旨

1 日 時 令和元年7月29日（月）午前10時

2 場 所 北とぴあ9階901会議室

3 出席者 20名

4 議 事

議事1 東京都北区居住支援協議会の活動について（情報共有）

➤ 事務局より説明

議事2 各会員における居住支援に関する取組みについて（情報共有）

➤ 各会員より説明

議事3 北区における居住支援に関する既存事業について（情報共有）

➤ 区の主管課より説明

議事4 北区居住支援協議会の具体的取組みについて（意見交換）

➤ 事務局より他区の事例について説明があった。

➤ 事務局連絡事項

・北区居住支援協議会 News の発行について計画がある旨説明があった。

・10月東京都北区居住支援協議会主催のセミナー開催予定

➤ 意見等まとめ

【物件】

- ・北区内の住宅の登録が少ない。協力してほしい。(東京都防災・建築まちづくりセンター、北区社会福祉協議会)
- ・初期費用が3～5万円以下の物件の情報を提供してほしい。(北区社会福祉協議会)

【相談・支援】

- ・相談支援：相談できる不動産店を把握できない。(北区社会福祉協議会)

【契約】

- ・保証協会の「緊急連絡人」を確保できる人が少ない。(北区社会福祉協議会、北区精神障害者を守る家族会飛鳥会)
- ・緊急連絡先、保証人制度について、社協を中心として北区として工夫して考えてほしい。(民生委員児童委員協議会)

【入居】

- ・障害の軽い人から少しずつ優遇して入居ができれば、障害者に対する偏見が減り、障害者以外も民生委員として支援、協力できる。(民生委員児童委員協議会)

【家主支援】

- ・家主に社会福祉貢献をお願いするための説得材料がほしい。(東京都宅地建物取引業協会 北区支部)
- ・障害のある方が地域に住むためには、まずオーナーの不安を取り除くことが重要でそのためにはどうしたらいいのかをこの会議で話し合うことが大事。(ピアネット北)
- ・啓発活動により契約時の不安材料を取り除くことも必要。(ピアネット北)
- ・理解を示す協力的な不動産屋が少なくなっている。(北区精神障害者を守る家族会飛鳥会)

【その他】

- ・マンパワー不足でアフターフォローの手がない。(北区精神障害者を守る家族会飛鳥会)
- ・家計改善支援を受け、3～6か月低額で貸してくれるシェアハウスのような、間借りできる居住支援施策がほしい。(北区社会福祉協議会)
- ・いろいろな課題がある中、この協議会が解決する場となったらいい。(北区精神障害者を守る家族会飛鳥会)
- ・支援の対象が、どの制度にも当てはまらない、高齢者でも子ども等でもないため孤立無援の活動にご理解いただけるとありがたい。(学生支援ハウスようこそ)。
- ・住宅支援に生活支援を含めた活動ができる団体がもっと増えればいい。(学生支援ハウスようこそ)
- ・緊急通報システムの対象者、負担額などについて知らなかった。孤独死が多いので、もっと緊急通報システムなどの事業PRが必要。(東京都宅地建物取引業協会)